

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

年	月	単元名	評価項目	評価規準
1 学期	4	ななまづりと かず	【知 技】	10までの数について、1対1対応により集合の要素の個数を比べる方法や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、集合の要素の個数を比べたり、数を正しく数え数字を縦んだり書いたり、数の合成、分解をしたりすることができる。
			【思 判】	数をまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目し、1つの数をほかの2つの数の和や差としてとらえ言葉や半具体物などを用いて表現したりしている。
			【主 体】	数の比べ方や数え方を考えた過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
			【知 技】	数を用いた順序や位置の表し方を理解し、数を用いて順序や位置を表すことができる。
	5	なんばんめ あわせていくつ ふえる のこりはいくつ ちがいは いくつ	【知 技】	数を順序や位置を表すものとしてみて、基点に着目して順序や位置を考え、数を用いて順序や位置を表現している。
			【思 判】	数を用いて順序や位置を考えた過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
	6	は	【知 技】	合併や増加など、加法が用いられる場合について知り、加法の意味を理解し、和が10以内の加法計算が確実にできる。
【思 判】			加法の意味に着目し、合併や増加などの場面を加法の式に表し、その計算の仕方や1位数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	
【主 体】			加法の意味や加法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
2 学期	7	どちらがながい	【知 技】	長さについての基礎的な意味や、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、長さについての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、長さを比べることができる。
			【思 判】	身の回りにあるもの長さに着目して、直接比較や間接比較、任意単位による長さの比べ方を考えたり、任意単位により長さを数値で表したりしている。
			【主 体】	身の回りにあるもの長さに関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
			【知 技】	ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりすることができる。
	8	わかりやすくせりしよ う	【知 技】	データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴をとらえている。
			【思 判】	簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴をとらえたりした過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
			【主 体】	10までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、10までの数え数字を縦んだり書いたり、20までの数の構成を加法や減法の式に表すことができる。
9	10より おおまい かず なんじなんはん 3つの かずの けいさん どちらがおおい	【知 技】	10のまとまりに着目し、40までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。	
		【思 判】	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方や考え方を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
3 学期	10	たしざん かたちあそび	【知 技】	何時、何時半の時刻の読み方を理解し、何時、何時半の時刻を縦線、時計で表したりすることができる。
			【思 判】	短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。
			【主 体】	時刻に関心をもち、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
			【知 技】	3つの数の加減計算の場面を1つの式に表せることを理解し、その計算が確実にできる。
	11	ひきざん	【知 技】	2つの数の加法や減法を基にして、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方や、操作や図を用いて考え表現している。
			【思 判】	3つの数の加減計算について、式の表し方や計算の仕方や、操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
			【主 体】	体積についての基礎的な意味や、保存性、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、体積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、身の回りにある入れ物に入る水の体積を比べることができる。
12	たしざん かたちあそび	【知 技】	身の回りにある入れ物に入る水の体積に着目して、直接比較や間接比較、任意単位による体積の比べ方を考えたり、任意単位により体積を数値で表したりしている。	
		【思 判】	身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
		【主 体】	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。	
		【知 技】	10のまとまりに着目し、1位数どうしの加法計算の仕方や、操作や図を用いて考え、表現している。	
1	おおい どちらがひろい	【知 技】	1位数どうしの加法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
		【思 判】	身の回りにあるもの形について、その特徴や特徴、機能をとらえたり、構成や分解をしたりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。	
		【主 体】	身の回りにあるもの形について、図形の特徴や機能をとらえたり、構成や分解をしたりして、表現している。	
		【知 技】	身の回りにあるもの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能をとらえたりした過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
	2	なんじなんぶん たしざん と ひきざん	【知 技】	何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を縦線、時計で表したりすることができる。
			【思 判】	短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現している。
			【主 体】	時刻に関心をもち、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
3	かたちづくり	【知 技】	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解し、問題を解決することができる。	
		【思 判】	数量の関係を着目し、順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図や式に表して考え、表現している。	
		【主 体】	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図に表して問題を解決した過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
4	かたちづくり	【知 技】	身の回りにあるもの形について、その特徴や特徴をとらえ、直線や構成されたものも面で表されたものと同じように見られることを理解し、色紙や棒を並べていろいろなもの形を構成したり分解したりすることができる。	
		【思 判】	身の回りにあるもの形に着目し、図形の特徴をとらえたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。	
5	かたちづくり	【知 技】	身の回りにあるもの形について、形の特徴をとらえたり、構成、分解したりした過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
		【思 判】	身の回りにあるもの形について、形の特徴をとらえたり、構成、分解したりした過程や結果を振り返り、そのよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	